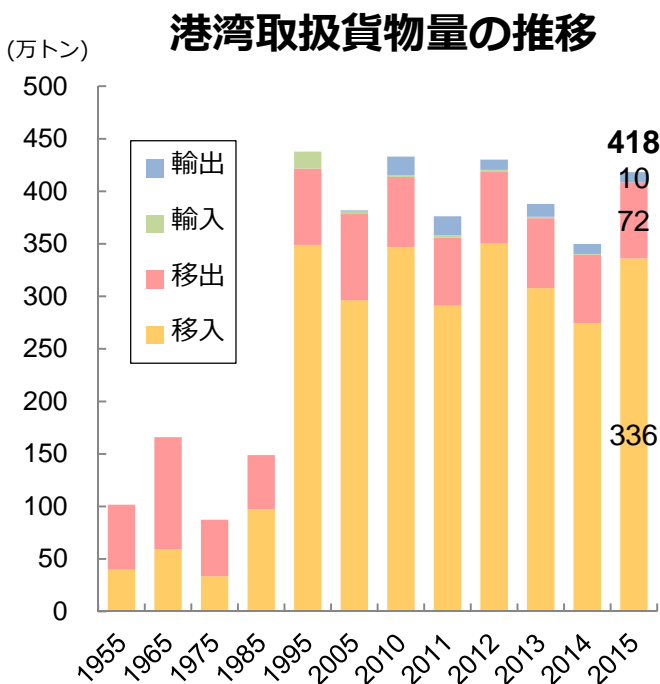


小野田港 <Port of Onoda>

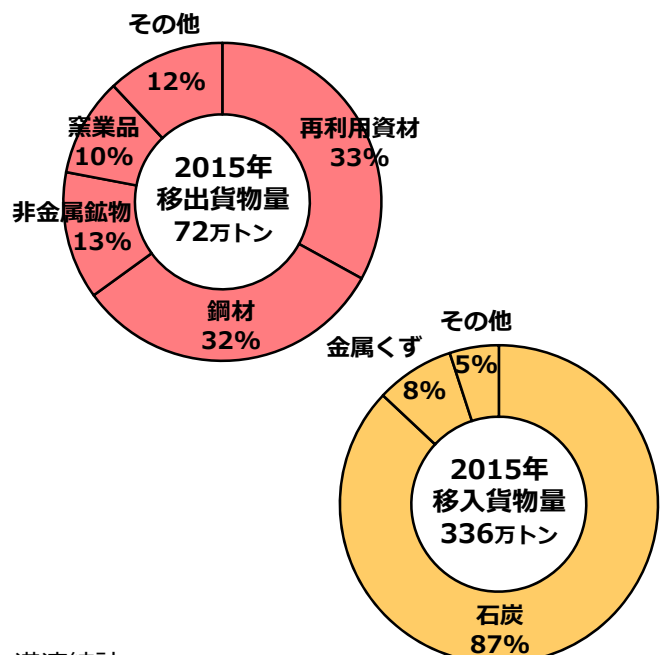


小野田港は、石炭やセメント関連の化学、薬品工場などが立ち並ぶ鉱工業都市の港です。昭和35年には重要港湾に指定され、石炭、鋼材、金属屑などを中心に年間約400万トンの貨物を取り扱う工業港として発展してきました。今後は、臨時部企業のニーズに応じていくため、地域振興の基盤となる港湾整備を目指しています。

数字でみるみなと - 小野田港 -



主要品目取扱貨物量(2015年)



出典：港湾統計